

心理職

平成28年6月26日実施

教養考査の問題

平成26年度の日本の食料自給率（カロリーベース）は39%で、大半を海外からの輸入に頼っています。

その一方で、売れ残りや期限切れの食品、食べ残しなど、本来食べられるにもかかわらず廃棄されている、いわゆる「食品ロス」が大量に発生しています。その日本国内の量は年間500万トン～800万トンと推計され、世界中で飢餓に苦しむ人々に向けた世界全体の食料援助量（平成26年：年間約320万トン）を大きく上回る量です。

食品メーカーや卸・小売店、飲食店、家庭など、様々な場所で発生する大量の食品ロスを減らすことは、環境面や経済面でもプラスになることから、大切な食べ物を無駄なく消費することが求められています。

そこで、次の問いに答えなさい。

- 問1 なぜ食品ロスが大量に発生するのか、その要因について説明しなさい。
- 問2 食品ロスを削減するために、どのような取組みを進めることが必要か、あなたの考えを述べなさい。